

1. 題材設定の理由

6年生は、中学の生活に対して不安や期待をもっているが、互いに意見を交流し合うことによって同じ悩みを皆がもっていることを理解させたい。

卒業生から中学校について話を聞き、その話の中から、中学生生活の不安を和らげ、期待を膨らませてあげたい。そして、残りわずかな小学校生活をどのように過ごしたらよいか、自分なりの目標をもたせる機会としたい。

2. 指導のねらい

中学校生活に対して憧れの気持ちを持ち、中学生と触れ合う中で、進学に備えて今の自分にできることを考えることができる。

3. 指導計画（全1時間）

事前	・中学生になることに対する不安な気持ちをノート①に書かせておく。また身近な中学生に、中学校生活のことを尋ねさせるようにする。
本時	・中学校生活に備えて、何をするとよいか考えをもつことができる。
事後	・1日入学はどんな視点で臨むのか考えさせる。 ・卒業式で仲間と協力し、中学への期待をもって卒業することができる。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・中学校生活に対する期待や不安を積極的に出すことができる。	◎中学生になることに対して不安なことを出し合う。また、期待していることも出し合う。 ・先輩とうまくやれているか不安です。 ・野球部に入ってレギュラーを狙っています。 ◎班の中で、中学校生活について思っていることを交流し合う。 ・怖い先輩がいるか不安です。 ・お兄さんから聞いたけど先輩は優しいらしいよ。	・あらかじめ大体の調査を行っておく。クラスの統計資料を提示する。 ・子どもの思いをどんどん出させる。	ノート① ノート②
課題：中学校生活を知り、今、自分に何が準備できるか考えよう。				
中心的活动	・卒業生のお話を聞いて、中学校の様子を把握し、中学生に向けての決意をもつことができる。	◎卒業生（中学生）に中学校の様子について聞く。 ・先輩は親切な人が多いです。 ・教科担任制で、いろいろな先生と触れ合えて面白い。 ・中学校への準備は、仲間と協力できることなど、小学校の生活がきちんとできることだよ。 ◎疑問に思ったこと、詳しく聞きたいことを質問する。 ・先輩が中学校で一番がんばっていることは何ですか。 ◎中学校へ向けて、どのように残りの小学校生活を過ごすのか考える。 ・忘れ物を失くして、中学校に備えたい。 ◎中学校に向けての目標を立てる。	・小学校の生活をきちんと送れば不安はないことを伝えるよう、中学生とは事前に打ち合わせをしておく。 ・中学生も小学生も目指すものは基本的に同じであることを押さえる。	ノート③ ・必要に応じてビデオなどの資料を準備しておく。 ノート④
まとめ	・小学校生活の最後を充実させる努力をすることを確認する。	◎今後の活動を理解し、活動の見通しをもつことができる。 ・1日体験入学 ・奉仕活動 ・6年生を送る会 ・卒業式 ・バイキング給食	・一つ一つの行事を成功させていくことが中学へのステップになることを押さえる。	
事後	・1日体験入学で、中学生と積極的に触れ合おうとする。	◎見る視点をもって体験入学をする。 ・中学生の態度について（6年生に対する） ・授業の雰囲気		p78～79の資料も参考にさせる。
	・卒業式の練習に真剣に臨む態度を育てる。	◎中学生の姿に近づこうと自分を高める。 ・自分のめあてをもって練習に取り組む。		

《説話例》 「新しい自分との出会い」

皆さんはもうすぐ中学生になります。環境が変化するので期待よりも不安の方が強い人もたくさんいたことでしょう。でも、今日の話し合いで同じ悩みをもっている子がたくさんいることを知ったでしょう。先生が受け持った卒業生の中で1年生のとき代議員に立候補した人がいます。代議員は小学

校の代表委員のようなものです。「よし、中学生になったら積極的にみんなのために働こう。」と思ったのだそうです。その人は、積極的に意見を言うようになりその後も代議員を続けたのだそうです。ぜひ、皆さんも中学校で、新しい環境の中で、今まで知らなかった自分と出会ってください。